一般社団法人日本リハビリテーション工学協会誌

「リハビリテーション・エンジニアリング」 次期編集委員の公募

協会誌編集委員会では、次期編集委員(『特集記事小委員会 委員』 および 『査読論文小委員会委員』) を公募します。協会誌の編集に興味があり、特集企画を実現したい方、リハビリテーション工学・本誌の学術発展に寄与頂ける方、ぜひご応募下さい。

なお、特集記事小委員会 委員 および 査読論文小委員会 委員は、原則として当法人の正会員であることが望ましいですが、本誌の記事の幅や査読の公正性を優先するため、必須とはしておりません。どうかよろしくお願い致します。

○『特集記事小委員会 委員』

【概要】 年4回(概ね4月、7月、10月、1月)、半日程度の編集会議を通して、協会誌の企画検討や編集作業を行います。2年の任期(4号×2巻)のうち1号は、特集記事の主担当となり、中心的に企画編集を進めます。そのほか、各記事の執筆依頼などの業務を行います。編集会議は主にオンライン形式で、年に 1 度、対面(交通費支給)・オンラインのハイブリッド開催を予定します。いつも和気あいあいとした雰囲気で、これまで障がい当事者の方も委員として参加されていました。皆さま是非ご検討下さい。

【募集人数】 4名

【任期】 2年(2027 年 4 月～2029 年 3 月)

全国各地より、当事者、多様な立場の方からの応募をお待ち申し上げております。

【応募方法】 氏名、所属、職種、お考えがあればリハビリテーション工学に対する思いや希望する特集企画の概要等をA4用紙1頁以内にまとめ、2027 年 1 月 31 日までに下記の編集事務局まで電子メールにて送信(または郵送)して下さい。

○『査読論文小委員会 委員』

【概要】 多岐にわたる分野の投稿論文に対する適切かつ迅速な査読を推進することを目的とし、査読者選定、連絡調整、論文採否の最終決定の審議等を担います。編集会議はオンライン形式で行います。学識経験者、審査付き論文に採択経験のある方、論文編集に興味のある方等、是非ご検討下さい。

【募集人数】 1名

【任期】2年(2027 年 4 月～2029 年 3 月)

【応募方法】 氏名、所属、職種、簡単なご略歴、お考えがあればリハビリテーション工学に対する思い等をA4用紙1頁以内にまとめ、2027 年 1 月 31 日までに下記の編集事務局まで電子メールにて送信(または郵送)して下さい。

【申込み・問い合わせ先】

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会誌編集事務局
Email:journal@resja.or.jp
神奈川リハビリテーション病院 研究部 リハ工学研究室内
〒243-0121 神奈川県厚木市七沢 516 番地　　FAX: 046-249-2598

○ 特集記事小委員会　委員(2025.4～2027.3）藤原 千里氏

重度の障害があり、車椅子を利用する娘が、幼い頃からお世話になっている方とのご縁で、委員に加えていただきました。日頃からリハビリテーションは身近に感じていたものの、「工学」となると未知の世界で、当初は緊張と戸惑いもありました。しかし、実際に参加してみると、学ぶことばかりの大変貴重な機会となりました。

委員としての活動を通じて、何より心に残ったのは、ユーザーの視点に立って社会の課題を解決しようとする研究や、臨床の現場で実践を重ねておられる委員の皆さまの姿です。それぞれのお立場から語られる熱い思いや、よりよい暮らしや社会の実現に向けた真摯な取り組みに触れ、リハビリテーション工学が人々の生活を支え、社会を変えていく可能性を改めて実感しました。また、そうした思いや実践が結実した特集の数々は、毎回大変充実した内容となっており、作成に携わることの意義と醍醐味を感じました。

気がつけば、二年間はあっという間に過ぎていました。専門的な知識も十分ではない私を温かく迎え、多くの学びと気づきを与えてくださった委員の皆さまに、心より感謝申し上げます。娘との暮らしを通じて感じてきたことを、また違った視点から考える機会をいただけたことも、私にとって大きな財産となりました。この貴重なご縁と経験を、これからも大切にしていきたいと思います。

○ 査読論文小委員会　委員(2023.4～　）飯田 修平氏

私は理学療法士として、査読論文小委員会の活動に参加しています。委員会には、リハビリテーション専門職をはじめ、工学・建築分野、義肢装具分野など、さまざまな専門性を持つ方々が参加されています。普段の臨床や教育・研究活動では接する機会の少ない分野の方々と意見を交わすことができ、新たな発見や学びが得られることが、この委員会の大きな魅力だと感じています。また、委員会で多様な分野の論文に触れることで、リハビリテーション工学の幅広さを実感するとともに、研究や論文執筆に対する自身の視野を広げる貴重な機会にもなっています。委員の皆さまは温かく、専門分野や経験の違いを尊重しながら意見交換ができる環境になります。

会議は年に数回、夜間にオンラインで開催されます。それぞれの業務の都合にも配慮していただけるため、無理なく活動に参加できることも魅力の一つです。さまざまな専門分野の方々と交流しながら、楽しく学ぶことのできる委員会ですので、興味のある方はぜひ参加をご検討いただければと思います。